

記載日 2024年 2月 28日

職員 4名配布

回答 4名

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4			部屋を仕切って活動が有意義におこなえるように工夫しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	4			法令で定められている人数以上で配置していますが足りないと感じる時もある。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		完全にバリアフリー化はしていませんが、安全に配慮し活動を行っています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		日々の業務日報の記入、始業前・後のミーティング、職員会議やケース会議等を行い、情報共有を行っています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		保護者からのご意見、要望を取り入れながら改善できるよう配慮しています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		HP等で公表しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	他事業所による相互監査を受けています。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			事業所内研修や外部研修に参加しています。また、県主催の研修に参加しています。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			利用児と保護者のニーズを聞きながら、個別に必要な支援を職員で話し合い、個別支援計画の作成を共に行っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			統一化された書式を使用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・ミーティング等で話し合っている。 全職員で話し合い意見を出し合っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			季節や成長、その時の状況に合わせて、活動のプログラムを決めています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			事前に計画をしていることもあるが、その日の状況をみながら対応しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			状況に応じて、個別支援計画の内容を取り入れながら取り組んでいます。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			支援開始前に必要な情報共有を行い、支援に臨んでいます。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			支援終了後は一日の振り返りを行っています。
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎月、利用児の状況をまとめ共有を図っています。	

関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			定期的に行い、必要に応じて内容変更を行えるようにしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4			ガイドラインに沿った支援、取り組みを行っています。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4			これまでサービス担当者会議に参加したことはありませんが、その際は児童発達管理責任者が参加します。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			必要な情報の習得、共有を行い、各関係機関と連携し対応しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		・医療的ケア児の利用は無し。医療的ケアが必要な児を受け入れた際は、必要に応じて関係機関と連携を取り対応をしていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		就学前の児童がいた際は、情報を習得、共有を行うよう努めます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		該当児はおりませんが、情報の共有を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		専門機関が開催する研修に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めています。
	㉖	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			4	交流を持つことが出来ていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			4	参加したい旨を伝えているが連絡が来ず、協議会自体活動していないので参加できていない。
保護者への説明責任等	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			連絡帳、送迎時等に情報共有を図っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2		職員はペアレント・トレーニングの研修を受講しており、それに基づいた助言等も行っていきます。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に説明しています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			その都度、お話を伺い助言と支援を行っています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3		保護者が集まれるイベントを主催している。(いばしょLAB)また、保護者会「かたつむりの会」を発足している。開催回数が少ない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			速やかに対応するよう努めているが、足りてないと感じているかもしれない。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		毎月のおたより発行と、必要に応じてその都度お知らせを発行しています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	4			書類関係は鍵のかかるキャビネットで厳重に管理しています。

	③⑥ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			個々に合わせた伝達方法を行い、情報共有に努めています。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	1	3		社会情勢では無理があり、集まることが困難なため行えていない。今後は招待などを考えている。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			各種マニュアルについて、玄関の下駄箱の上に誰でも手に取って見られるよう設置しています。また、不足している部分については作成中です。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			不定期だが、行っています。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			マニュアルを見えるところに設置したり、県主催等の研修に参加し適切に対応できるよう努めています。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			個別支援計画に記載し、身体拘束を行った際は保護者に説明を行います。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			アレルギーや服薬が必要なお子様に関しては、保護者や医師の指示書に沿って慎重に対応しています。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			事例検討し、内容の共有を行い、支援の向上を図っています。